

～被爆体験伝承者等派遣事業～

被爆体験を語り継ぐために…



「原爆ドーム（広島）」

被爆体験の伝承者等を 全国へ無料で派遣します



「平和祈念像（長崎）／北村西望作」

戦後70年以上が経過し、被爆者の高齢化が進んでいます。唯一の戦争被爆国として、被爆者の体験や平和への想いを次世代に語り継ぐため、広島、長崎では、被爆者から直接受け継いだ体験を語り継ぐ「伝承者」や、被爆者の体験記や詩などを朗読する「朗読ボランティア」の養成・登録を行っています。

厚生労働省と広島市、長崎市が協力し、伝承者、朗読ボランティアを全国に無料で派遣します。派遣者は、被爆体験伝承講話や被爆体験記朗読会において被爆の実相、平和への想いを伝えます。

◆被爆体験伝承者（広島） 家族・交流証言者（長崎）

広島市・長崎市が養成した伝承者が、パワーポイントなどの映像を用いながら、被爆者から直接受け継いだ被爆体験や平和への想いをお話しします。

※被爆体験の伝承者については、広島と長崎で名称が異なります。

◆被爆体験記朗読ボランティア（広島・長崎）

国立原爆死没者追悼平和祈念館が募った朗読ボランティアが、被爆者が自ら綴った体験記や詩などを朗読します。聴講者による朗読体験なども行います。

（講話・朗読時間の目安 広島：60分 長崎：40分）※応相談。

平成31年度
派遣申込

1/21（月）
受付開始

お申し込み＆お問い合わせ先

◆申込期限は、原則として派遣希望月の3カ月前の月の月末まで

（ただし、派遣希望月が4月の場合は2月末まで）

（例）7/31 派遣希望の場合の〆切 ⇒ 4/30 ※申込期限に間に合わない場合は、お電話にてご相談ください。

◆下記のお申し込み先のホームページに掲載している派遣申込書に、必要事項を記載のうえ、電子メール又はFAXにより提出してください。

広島	被爆体験伝承者	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 TEL 082-207-1202 FAX 082-543-6273 ホームページ https://www.hiro-tsuitokinenkan.go.jp/ e-mail haken@hiro-tsuitokinenkan.go.jp
	被爆体験記朗読ボランティア	
長崎	家族・交流証言者	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 TEL 095-814-0055 FAX 095-814-0056 ホームページ https://www.peace-nagasaki.go.jp/ e-mail haken@peace-nagasaki.go.jp
	被爆体験記朗読ボランティア	

お申込みから開催までの流れ

- ① **申込の受付** 平成31年1月21日から（申込期限：原則として派遣希望月の3カ月前の月の月末まで）
- ② **派遣の可否の連絡** 申込書受付後、20日以内に連絡します。
- ③ **派遣者名等の派遣内容の連絡** 開催日の1ヶ月～2週間前までに連絡します。
- ④ **派遣者と電話等で打ち合わせ** 派遣者と開催内容等の確認を行ってください。
- ⑤ **伝承者等の派遣、開催** 会場設営、必要機器等の準備を行ってください。

※お申込みに際しての注意事項

- 派遣対象 学校、自治体、その他の団体が主催し、平和に関して学ぶ目的で行う平和学習等とします。ただし、政治・宗教・営利を目的とする集会等は除きます。
 - 聴講者数 概ね20名以上が聴講する平和学習等に派遣します。ただし、これを下回る場合においても状況に応じて派遣します。
 - 実施回数 申込は1団体1回のみ（1年度内）、講話もしくは朗読会のいずれかのみとします。なお、広島、長崎両方へのお申し込みはできません。
- ※必要機器等（パワーポイントソフトの入ったパソコン、机、マイク及びマイクスタンド等）は申込者に準備していただきます。また、会場借上料など必要経費は申込者負担となります。

平成30年度に寄せられた感想（抜粋）

広島からの派遣

○被爆体験伝承講話

【福島県川俣町立川俣小学校】平成30年11月19日

実際に体験された方の言葉として語っていただいたことで、児童はこれまで見聞きしてきた「戦争」「原爆」というものをより現実として重く受けとめ、一人一人がしっかりと平和について改めて考える機会を得ることができました。



○被爆体験記朗読会

【青森県立野辺地高等学校】平成30年6月13日

会場の静寂の中で、聞いている生徒たちの心に直接訴えかけるかのような朗読をしていただき大変良かった。遠く広島から来訪していただき、現地の方だからこそ伝えられる重みのあるお話をしていただきました。



長崎からの派遣

○家族・交流証言講話

【兵庫県姫路市立四郷中学校】平成30年4月18日

画像や音源もあり、とてもわかりやすく当時のことを想像することができました。修学旅行の際、同じ資料を原爆資料館で見て、平和についてより深く考えることができました。



○被爆体験記朗読会

【宮崎県小林市立東方中学校】平成30年6月18日

紙芝居を通して、原爆の恐ろしさがよく伝わりました。継承者の思いや語り継ぐことの大切さが実感として伝わり、また中学生でもできる継承活動を具体的に学ぶことができました。

